

柿本朝臣人麻呂の歌集の歌に曰く

三二五三番

葦原の 瑞穂の国は 神ながら 言挙げせぬ国  
然れども 言挙げぞ我がする 言幸く ま幸くま  
せと つつみなく 幸くいまさば 荒磯波 あり  
ても見むと 百重波 千重波にしき 言挙げす我  
は 言挙げす我は

反歌

三二五四番

磯城島の 大和の国は 言霊の 助くる国ぞ ま  
幸くありこそ